

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	33110
政策名(章)	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします	評価担当部	都市部
基本施策名(節名)	第1節 利便性の高い公共交通網の確立	評価担当課	都市交通計画課
施策名	総合交通体系の確立	課長名	石川敏美

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

平成13年度に策定した「相模原市総合都市交通計画」は、「道路網基本計画」、「公共交通網基本計画」、「TDM(交通需要マネジメント)基本計画」の3つの基本計画で構成されている。特に、「TDM基本計画」は、増え続ける自動車交通を円滑に処理していくためには、道路整備等のハード整備だけでは対応できないため、道路利用者の時間帯や経路の変更、交通手段の変更、自動車の効率的な利用など、新たなソフト施策として推進するものである。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		10,858	「相模原市総合都市交通計画」の策定が完了したため。
人件費		8,050	
市民一人あたりの事業費	78	28	
合計	47,922	18,908	

*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

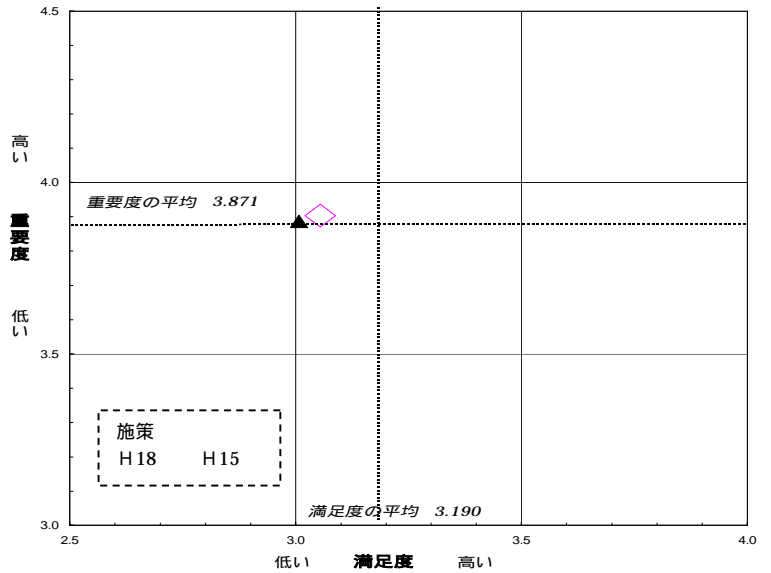
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	交通需要マネジメント施策の推進	社会実験の11施策の本格実施数	2施策	17
指標2				
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	2 / 2	19	3施策	21	5施策	社会実験の結果を踏まえ、今後の本格実施(導入)に向けての施策の実施。
達成率	100					
指標2						
達成率	#DIV/0!					
指標3						
達成率	#DIV/0!					
指標4						
達成率	#DIV/0!					
指標5						
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.054で51施策の中で46番目。
 重要度は3.904で24番目である。
 改善要望度は0.1190で18番目である。
 年齢別にみると、満足度は70歳代以上でもっとも高く、30歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は50歳代でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、60歳代、70歳以上で前回調査より大幅に上がり、30歳代で大幅に下がっている。
 重要度の順位では、50歳代で大幅に上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	社会実験結果を踏まえた本格実施施策について、2施策を実施し、目標どおりの成果があった。
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	事業の投入コストは減少し、事業の成果は向上している。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	平均値と比較して満足度は低いですが、重要度は高く、今後の都市交通や地球環境等から見て重要度が高くなってくると考えられる。
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)
			1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	社会実験だけに留まらない持続性のあるTDM施策の取り組みが必要である。
解決策	社会実験の結果を踏まえ、今後の取り組むべき施策を検証するとともに、他の課題箇所における進め方についても検討を行う。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標だけでは施策目的と適合していない。成果指標を設定することが必要である。記載されている構成事務事業だけでは、施策の成果を示すことが出来ないため構成事務事業の見直しが必要である。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

実施した事業の中から、成果指標として市民に示すことのできる、わかりやすい指標を設定すること。本施策については、節レベルで市民にわかりやすい指標設定を行い、指標の共有化を図ること。	3次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

総合交通体系の確立

コード 33110

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
相模原市総合都市交通計 画策定調査委託	都市交通計画 課	1	4.00	47,922			0		0
交通需要マネジメント推進 事業	都市交通計画 課				1	1.00	8,050	10,858	18,908
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		4.00	47,922		1.00	8,050	10,858	18,908
	合計		4.00	47,922		1.00	8,050	10,858	18,908

